

～水の館プラネタリウムの番組と、この春、我孫子で見られる星座の情報誌～

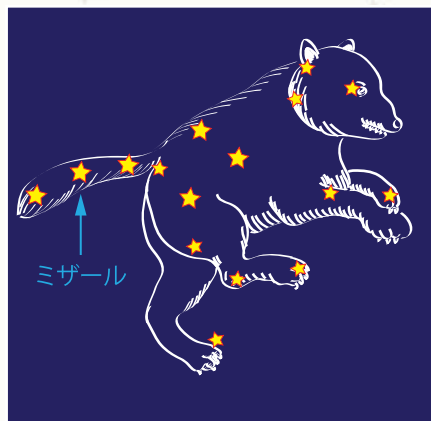


我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

2019年1月6日に我孫子市で
観測された部分日食の様子うな～。

星座の物語 ～神話の世界をのぞいてみよう～

★おおぐま座★



くまに変えられた親子が星座となったおおぐま座と子ぐま座。このうち、おおぐま座は北極星を見つける目印となる北斗七星を含んだ星座です。北斗七星はおおぐま座のお尻からしっぽにかけて並ぶ星々です。7つの星にはそれぞれ名前がついていますが、さきっぽから2番目の星をミザールと言います。よく見ると2つの星が重なり合うように見える二重星でもあります。

★しし座★

7月23日～8月22日生まれ



ヘラクレスが闘ったライオンが星座となったしし座は見つけやすい星座の1つです。胴体を形作る四角い星の並び。そして凛々しい頭部と前足、後ろ足。実際の星を眺めながら姿を重ね合わせることができます。東から南の空高くを横切り西に沈みます。また、3個しかない春の一等星のひとつ、レグルスがあります。春の夜空に、ししが駆けける姿を探してみたいはいかがでしょうか。

★おとめ座★

8月23日～9月22日生まれ



北斗七星の湾曲したラインを延長すると明るい星々をたどることができます。赤みがかったうしあいの座のアルクトゥールスを経て、その先に明るく輝くのがおとめ座のスピカです。おとめ座は美と正義の神「アストライア」の姿とされます。正義の神がもつのは善悪をはかる天秤。こちらはてんびん座として星座になっています。

2019年春の天文イベント ～星空を見上げてみよう～

日付	天文現象	説明
4/23～26にかけて	月が木星と土星に接近	早朝ではありますが、南の空で日々細くなっていく月が惑星たちに接近します。木星も土星も明るく輝き、細い月とのコントラストが美しく眺めることができます。
5/6 頃	みずがめ座η(エータ)流星群	1月の「しぶんぎ座流星群」、8月の「ペルセウス座流星群」、12月の「ふたご座流星群」の3大流星群に次ぐ規模で毎年活動しています。今年は月明かりも無く5月7日の、日の出2時間半前から1時間半前までの1時間程度がいちばんの見頃となりそうです。暗い夜空で1時間に10個程度見られるかも知れません。
6月中旬(11日に衝※)	しぶんぎ座流星群	ふたご座流星群、ペルセウス流星群とともに3大流星群に数えられます。1時間に40個程度の流れ星を見ることができます。ピークが夜明け前のため観測には寒さとの戦いが必要です。
7月中旬(10日に衝※)	土星が見頃	衝※の頃は、地球と惑星との距離が近くなるため、明るく見えます。土星も見頃を迎えます。今年の土星の輪は大きく開き見応えがあります。昨年発表された研究では、あと1億年ほどで輪が消滅するのではないかとわれています。

※衝(しょう):地球中心から見た外惑星(太陽系の惑星のなかで、地球よりも外側の軌道をとる惑星)の方向が太陽からちょうど180°ずれた方向にあるときに使われることが多い。とくに、太陽と月の衝は望あるいは満月と呼ばれる。引用元:「天文学辞典(日本天文学会)」

星空ギャラリー(プラネタリウム横)

今年はアポロ11号が月面探査に成功してから50年になります。アポロ計画を紹介したパネルや資料、サターン5型ロケットの模型などを展示します。

月球儀▶

▼サターン5型ロケット



▲当時の新聞記事

2019年5月中旬の星空

北

東

西

南



天体情報 8 国立天文台 天文情報センター

天文ニュース～しぶんぎ座流星群～

今年の1月4日の早朝、しぶんぎ座流星群を見ることができました。親水広場でも夜明け前に1時間に5～10個ほどの流星を観測できました。流星は宇宙空間を漂う大きさ数ミリ程度の粒が、大気圏に飛び込んできたときに空気が発光する現象です。何億年も漂っていた小さな星のかけらが地球と出会った瞬間の輝きでもあるのです。



星空ミニクイズ～人工衛星に最初に乘った動物はなに？～

人が宇宙に行く前に、多くの動物たちがロケットで打ち上げられました。最初の人工衛星スプートニク1号が成功した翌月に打ち上げられたスプートニク2号にはある動物が乗り込みました。それは次のうち何だったでしょう？

- ①さる ②いぬ ③ねずみ

さて答えは？水の館3階のプラネタリウム横のスタンプコーナーで説明しています。



スプートニク2号

2019春のスタンプ



季節の星座スタンプをお楽しみよう！
※スタンプはプラネタリウムの横にあるよ！

水の館プラネタリウムインフォメーション

上映 星空解説「今夜、なにがみえるかな？」(2019春～夏)

4月から7月頃に見られる星空を紹介します。有名な北斗七星はおおぐま座の一部。その北斗七星を目印にうしかい座やおとめ座を探することができます。

寒さも和らいだ穏やかなこの季節の星を巡る楽しさをお伝えします。

上映期間:4月13日(土)～7月7日(日)まで

上映 テーマ番組「人類が月に降り立つまで～アポロ月面着陸50周年～」

1969年、アポロ11号が月面着陸に成功しました。そこに至るまでさまざまな試練や悲劇がありました。人類が月に到達するまでにはどんな物語があったのでしょうか。その歩みを数々のエピソードとともに紹介します。

上映期間:4月13日(土)～7月7日(日)まで



▲着陸の様子©NASA

打ち上げの瞬間©NASA▶

▼人類の大きな一歩©NASA



event 星空たんけん観望会～月と春の星座をみよう!～

プラネタリウムで星の見方を教えてもらった後、屋外の天体望遠鏡で月と春の星座を観望します。月面のクレーターをじっくり観察したり、春の大三角(スピカ、アルクトゥールス、デネボラ)を見つけてみよう!(雨天・曇天時はテーマ番組をご覧ください)

日時:5月18日(土)19時～20時(18時45分～受付) 持ち物:懐中電灯(赤色灯推奨)

費用:100円(中学生以下無料) 定員:先着50名 5月1日(水・祝)より電話で申込み 04-7184-0555

event 水の館リニューアルオープン3周年記念 星空CD演奏会 テーマ「宇宙・星」

テーマに合わせた曲を聴きながら、日の入りから満天の星、そして夜明けまでを体験いただきます。CD演奏会ならではの演出と生解説にもご期待下さい!テーマに沿ったリクエストも募集します。解説:駒井仁南子さん

日時:6月2日(日)①11時～②13時～ 入場料:300円 定員:各回先着50名(上映1時間前から発券開始)

※当日定時上映は行いません。

定時上映 土・日・祝日(年末年始を除く)

テーマ番組 10・13・15時～ [県民の日は高校生]
星空解説 11・14・16時～ [以上も無料です。]

団体上映

平日(水曜日および年末年始を除く)

平日に限り、10名以上の団体はプラネタリウムを貸し切ることができます。過去のテーマ番組も上映可能です。(要予約:2日前迄)

●上映時間:各回ともに約20分 ●定員:50名 ●料金:中学生以下無料、高校生以上1回100円

プラネタリウムのお問い合わせ先:手賀沼親水広場 水の館 TEL:04-7184-0555 FAX:04-7185-5869



Enjoy 手賀沼! は、風薫る5月の第二日曜に一人ひとりが手賀沼とのかかわりを感じながら楽しく一日を過ごすイベントです。

「バードウィーク手賀沼探鳥会」
in Enjoy 手賀沼!



鳥のゴムバンドを
作るよ ※当日入館無料
所 鳥の博物館



当日は、
鳥の博物館
水の館プラネタリウム
入館無料です。

Enjoy 令和元年
えんじょい てがぬま
手賀沼! 5.12
2019 日
カーモンベイベー
TEGANUMA
9:00～15:30 ※入場無料 ※雨天決行(一部中止・変更あり)

所 手賀沼親水広場

問 我孫子市 手賀沼課

Tel.04-7185-1111 (内 26-467)

<前日・当日> Tel.080-7962-5074

